

第3章 Brown 運動に関する確率積分

3.1 連続時間のマルチンゲール

(Ω, \mathcal{F}, P) を確率空間とし, フィルトレーション $(\mathcal{F}_t)_{t \geq 0}$ が右連続性:

$$\mathcal{F}_t = \mathcal{F}_{t+} := \bigcap_{u > t} \mathcal{F}_u$$

をみたすものとする.

定義 3.1 フィルトレーション (\mathcal{F}_t) をもつ確率空間 $(\Omega, \mathcal{F}, (\mathcal{F}_t)_{t \geq 0}, P)$ において, 確率過程 $X(t) = X(t, \omega)$, $t \geq 0$ が (\mathcal{F}_t) -マルチンゲールであるとは,

- (i) $E[|X(t)|] < \infty, \quad \forall t \geq 0,$
- (ii) 任意の $t > s \geq 0$ に対して

$$E[X(t)|\mathcal{F}_s] = X(s) \quad P - a.s. \quad (3.1.1)$$

が成立する時にいう.

注意 離散時間のときと同様に, 上の条件 (ii) は次の (ii)' と同値である.

(ii)' 任意の $t > s \geq 0$ と任意の $B \in \mathcal{F}_s$ に対して

$$\int_B X(t, \omega) P(d\omega) = \int_B X(s, \omega) P(d\omega) \quad (3.1.2)$$

Brown 運動のマルチンゲール性

後の便宜のためにフィルトレーション (\mathcal{F}_t) に関する Brown 運動を定義する.

定義 3.2 確率空間 $(\Omega, \mathcal{F}, (\mathcal{F}_t)_{t \geq 0}, P)$ において, 確率過程 $B(t)$ が, (\mathcal{F}_t) -Brown 運動であるとは,

- (i) 任意の $t \geq 0$ で $B(t)$ は \mathcal{F}_t -可測 (これを (\mathcal{F}_t) -適合という).
- (ii) $B(0) = 0 \quad P - a.s.$
- (iii) 任意の $t > s \geq 0$ に対して, $B(t) - B(s)$ は \mathcal{F}_t と独立で, 平均 0, 分散 $t - s$ の Gauss 分布となる.

定理 3.1 (\mathcal{F}_t) -Brown 運動 $B(t)$ は $P - a.s.$ で次を満たす. $0 \leq s < t$ とする.

- (i) $E(B(t) | \mathcal{F}_s) = B(s)$, つまり $B(t)$ は (\mathcal{F}_t) -マルチンゲール.
- (ii) $E(B(t)^2 - t | \mathcal{F}_s) = B(s)^2 - s$, つまり $B(t)^2 - t$ は (\mathcal{F}_t) -マルチンゲール.
- (iii) $E\left[e^{B(t) - \frac{1}{2}t} | \mathcal{F}_s\right] = e^{B(s) - \frac{1}{2}s}$, つまり $M_t = e^{B(t) - \frac{1}{2}t}$ は (\mathcal{F}_t) -マルチンゲール.

練習問題 3.1 マルチンゲールの定義に従い, (\mathcal{F}_t) -Brown 運動の定義を用いて定理 3.1 を証明せよ.

3.2 階段過程の確率積分

定義 3.3 $(\Omega, \mathcal{F}, P, (\mathcal{F}_t))$ に対し, (\mathcal{F}_t) -適な確率過程 $\Phi(t)$ が階段型とは, 自然数 n , $0 = t_0 < t_1 < \dots < t_n < \infty$ と確率変数列 $\xi_0, \xi_1, \dots, \xi_n$ があつて,

- (i) 各 ξ_j は $\mathcal{F}_{t_{j-1}}$ -可測,
- (ii) $\Phi(t) = 1_{(0)}(t)\xi_0 + \sum_{j=1}^n 1_{(t_{j-1}, t_j]}(t)\xi_j$

の 2 条件をみたすときにいう.

階段型確率過程の全体を \mathcal{L}_0 で表す.

定義 3.4 $\Phi \in \mathcal{L}_0$ に対して連続な確率過程 $I(\Phi)(t)$ を

$$I(\Phi)(t) = \sum_{j=1}^n \xi_j (B(t \wedge t_j) - B(t \wedge t_{j-1})) \quad t \geq 0 \quad (3.2.3)$$

によって与える。ただし、 $t \wedge s = \min\{s, t\}$ と約束する。 $I(\Phi)(t)$ を Φ の Brown 運動による確率積分とよび、

$$\int_0^t \Phi(s)dB(s)$$

とも書く。

定理 3.2 (確率積分の性質)

(i) (\mathcal{F}_t -適合性) 任意の $t \in [0, \infty)$ に対して $I(\Phi)(t)$ は \mathcal{F}_t -可測

(ii) (連続性) $I(\Phi)(t)$ は t について連続 *a.s.*

(iii) (線形性)

$$I(\alpha\Phi + \beta\Psi)(t) = \alpha I(\Phi)(t) + \beta I(\Psi)(t) \quad a.s.$$

(iv) (マルチンゲール性)

$$E(I(\Phi)(t)|\mathcal{F}_s) = I(\Phi)(s) \quad a.s.$$

(v) (等長性)

$$E((I(\Phi)(t))^2) = E \int_0^t \Phi(s)^2 ds$$

さらに一般に $t > v$ のとき、

$$E[(I(\Phi)(t))^2 - E \int_0^t \Phi(s)^2 ds | \mathcal{F}_v] = I(\Phi)(v)^2 - E \int_0^v \Phi(s)^2 ds$$

練習問題 3.2 (\mathcal{F}_t -Brown 運動の性質を用いて上の定理 3.2 を証明せよ。